

大学発スタートアップにおける経営人材確保支援（MPM）

2023年度採択事業者 成果報告書

2025年3月31日

株式会社みらい創造インベストメンツ

(1) 事業目的



課題

- 研究開発型スタートアップの創業の環境整備が整いつつある一方で、それらを経営する人材不足が顕在化している
- 上記経営人材には、ビジネススキルに加え、業界や技術に関する知見、及び研究者との性格を含めたマッチングが求められるために単純に“エリートビジネスマン”を採用すれば良いわけではない
- また仮に理想的な経営人材がいたとしても、数回程度の面談で短期に文化の異なる研究者と信頼関係を構築するのは難しい
- 一方、経営人材の教育の観点でも、スタートアップを取り巻く環境は日々変化しており、理論や過去経験からの座学での知識取得のみでは不十分である

MPM以前の取組

- 案件個別での経営人材候補の紹介を実施
- 2022年度経済産業省「客員起業家の活用に係る実証事業」に採択され客員起業家の雇用を開始

MPMで目指す姿

経営人材獲得ルート開拓

- 既存の経営人材獲得ルートだけに依存せず、適した獲得ルートの開拓及びプールを構築する

客員起業家のベストプラクティス構築

- 多様なバックグラウンドの客員起業家を雇用/契約することで、どのような人材が経営人材として適しているのか仮説を更新する
- 経営人材としてのスキルやマインドセットの獲得、及び研究者との関係構築についても、成功事例を積み上げていく

経営候補人材の裾野拡大と底上げ

- 大学（技術経営）と連携した「ディープテック起業家創出コース」を立ち上げ継続開催することで、経営候補人材の質と量をあげる

多様な人材マッチングの継続実施

- 研究者/研究開発型SUと経営者人材のマッチングイベントの型を作り、地方を含む大学やインキュベーターとも連携し毎月開催する

(2) 事業概要

実施項目	取組概要
①経営人材の発掘・育成	• upto4社と連携した経営人材プールの構築 • <u>東京工業大学（東京科学大学）と連携した、全12時間の「Deep Tech起業家創出コース」の企画、運営</u>
②経営人材と大学等の技術シーズ・大学発スタートアップのマッチング機会創出	• <u>地域スタートアップ・エコシステム共創プログラム等と連携した全国のシーズ発掘</u> • <u>地域大学や各インキュベーターとも連携した「CxO Discovery Night」の月次開催</u>
③経営人材として経営参画するための環境整備	• <u>フルタイム/兼業の客員起業家プログラムの構築と多様な人材の採用</u> • <u>客員起業家毎にカスタマイズしたプログラム、及びベストプラクティスの整理</u>
④取組内容及び実施結果等についての自己分析及び報告会等への参加	• 経営マターとしてEIRの取り組みを経営陣と全社員で取り組み、週次の定例でアップデート • 各種報告会・勉強会に参加し、知見の共有に積極的に参画

KPI	目標値 (人/件数)	実績値 (人/件数)	備考
マッチング創出数			
イベントや個別紹介等の「出会い」に参加した経営人材の数	60名	628名	EIR人数、大学発スタートアップの採用イベント参加者数、MOT講義参加者数
「出会い」を経て、具体的な伴走支援等の「関係構築」に進んだ経営人材の数	15名	160名	EIR人数、大学発スタートアップとの採用面談数
「関係構築」を経て、スタートアップの設立もしくは経営への参画等の「意思決定」に至った経営人材の数	4名	14名	大学発スタートアップと契約した人数
大学等の技術シーズを起点に、設立に至った大学発スタートアップの数	2社	3社	期間中設立の大学発スタートアップ ※1件は登記準備中であり4月に登記予定
大学発スタートアップ支援数			
経営人材が関与することとなる大学発スタートアップの数	4社	9社	経営人材が、起業後の大学発スタートアップ（主に創業期）の経営に関与した件数